

設定モード一覧表 / 操作方法

| 項目 | 表示 | 初期値 | 設定値 | 機能 |
|---------------|------------|------|----------------------------|------------------------|
| C01 通信方式 | C01. CLMOD | UC | UC/PR | 通信方式の選択 |
| C02 自局ID | C02. MY-ID | 001 | 001 ~ 200 | 自局IDの設定 |
| C03 グループID | C03. MYGID | 01 | 01 ~ 30 | グループIDの設定 |
| F01 送信チャンネル | F01. TXCH | LAND | LAND/SKY | 陸上波 / 上空波の選択 |
| F02 ビープレベル | F02. BEEP | 08 | 00 ~ 15 | 操作音(ビープ音)の音量設定 |
| F03 外部マイク感度 | F03. EXMIC | LV 0 | -18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10 | 外部マイクの感度設定 |
| F04 内部マイク感度 | F04. INMIC | LV 0 | -18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10 | 本体内部マイクの感度設定 |
| F05 送信出力 | F05. TXPWR | HIGH | OFF/LOW/MID/HIGH | 送信出力の設定 |
| F06 緊急アラーム機能 | F06. EMERG | OFF | EMRTX/EBEEP/OFF/BP+T/SILNT | 緊急アラーム機能の動作設定 |
| F07 自動電源オフ | F07. AT-PO | OFF | OFF/ON | 電源切れ忘れ防止機能の設定 |
| F08 PTT ホールド | F08. PTHLD | OFF | OFF/ON | PTT ホールド動作の設定 |
| F09 外部スピーカー設定 | F09. E-SPK | STD | STD/OPT | スピーカーマイクの特性補正 |
| F10 スーパーセーブ | F10. SSAVE | OFF | OFF/ON | 電池/バックの持ち時間をセーブ |
| F11 プログラムキー | F11. P-KEY | SCAN | SCAN/LIGHT/MUTE | プログラマブルキーの設定 |
| F12 スキャンチャンネル | F12. SCANM | CH15 | CH01 ~ CH55 | スキャンチャンネルの設定 |
| F13 スキャン受信設定 | F13. SC-RX | ON | ON/OFF | スキャン機能の着信後のスキャン再開設定 |
| S01 シリアル番号確認 | S01. S/N | - | - | 販売店および営業所サービス確認 |
| S02 CSMコード確認 | S02. CSM | - | - | 販売店および営業所サービス確認 |
| F99 設定リセット | F99. RESET | OFF | OFF/ON | 各種設定を初期値(ご購入時の状態)に戻します |

- 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れたら、「VXD1S」→「SET.MODE」が表示されます。その後、設定モードの「C01.CLMOD」が表示され、[MODE]キーを放します。
- [MODE]キーを短押しして、項目を選択します。
例：F02.BEEPを選択した場合
補足 [MODE]キーを長押しするごとに設定モードの項目を後退します(F01.TXCH→C03.MYGID)。後退します。
- [▲]または[▼]キーを押して、設定値を選択します。
○ [MODE]キーを長押しすることで、選択をキャンセルすることができます。
○ 「C02.MY-ID」を設定する場合は、[プログラム]キーを短押しすることで桁移動ができます。
- [MODE]キーを短押しして確定します。必要に応じて、同様に他の項目を設定します。その後電源を切り設定は終了します。



個別通信を行う (C01. CLMOD ~ C03. MYGID)

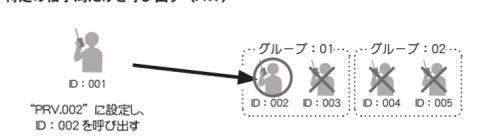
個別通信とは

特定の相手局だけを呼び出したり、自局と同じグループの呼び出しやグループに関係なく一斉に呼び出して通話することができます。

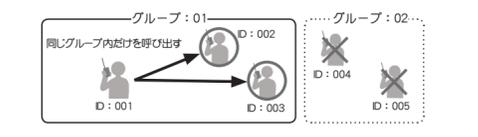
個別通信を行う前の準備:

- 設定モード「C01.CLMOD」を「PR」(個別通信)に設定します。
- 設定モード「C02.MY-ID」で「001 ~ 200」から、各トランシーバーに違うIDを設定します。
- 設定モード「C03.MYGID」で「01 ~ 30」から、自局グループのIDを設定します。
- 全員が同じチャンネルに設定します。
- 全員が同じユーザーコードに設定します。
- 秘話機能を使用する場合は、全員が同じ秘話コードに設定します。

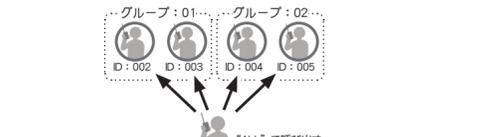
特定の相手局だけを呼び出す (PRV)



自局と同じグループだけを呼び出す (GRP)



一斉に呼び出す (ALL)



内部マイク感度の設定 (F04. INMIC)

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

| | |
|-------------------------------------------------------|-----------|
| (低) -18 ⇨ -12 ⇨ -6 ⇨ -3 ⇨ 0 (初期値) ⇨ +3 ⇨ +6 ⇨ +10 (高) | F04.INMIC |
|-------------------------------------------------------|-----------|

送信出力の設定 (F05. TXPWR)

送信出力(放射する電波の強さ)を「HIGH」(1W)、「MID」(0.5W)、「LOW」(0.2W)から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を「MID」または「LOW」に設定してください(ディスプレイに「L」が点灯します)。また、本機を受信専用機として使用する場合は「OFF」に設定してください。

| | | |
|------------|--------------------------------|-----------|
| OFF (初期値) | PTT(通話)スイッチを押しても、送信しません(受信専用)。 | F05.TXPWR |
| LOW | 送信出力が0.2Wに設定されます。 | |
| MID | 送信出力が0.5Wに設定されます。 | |
| HIGH (初期値) | 送信出力が1Wに設定されます。 | |

緊急アラーム機能の設定と使用方法 (F06. EMERG)

設定モードによる準備

[プログラマブル]キーを長押しすることで、緊急事態をアラーム音とLEDインジケータの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して他の仲間に緊急を知らせることができる機能を設定します。

| | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| EMRTX | 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足: この設定は、PR (個別) 通信方式時のみ動作します。UC 通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。 | F06.EMERG |
| EBEEP | トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。 | |
| OFF (初期値) | 緊急アラーム機能は動作しません。 補足: [プログラマブル]キーの長押し操作がスキャンチャンネルの登録機能として動作します。 | |
| BP+T | 「EMRTX」の動作を行った後、「EBEEP」の動作を行います。 補足: この設定は、PR (個別) 通信方式時に使用しますが、UC 通信方式時に使用した場合は「EBEEP」の動作のみを行います。 | |
| SILNT | サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDインジケータは緊急動作中も点灯しません。また、緊急動作中にPTT(通話)スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足: この設定は、PR (個別) 通信方式時に使用しますが、UC 通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。 | |

緊急アラーム機能を使用する

[プログラマブル]キーを長押しします。



◎緊急信号を受信したとき:

PR (個別) 通信方式で緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LEDインジケータが白色で点滅し緊急受信モードになります。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続きます。

- 電子音は、いざりかのキーを押すと止まります。
- [プログラマブル]キーを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴りLEDインジケータが点滅します。

緊急信号を受信したときに、PTT(通話)スイッチを押して送信すると、自動的に「高呼び出し」(同じチャンネルに合わせた、全ての局を呼び出す)に切り替わります。

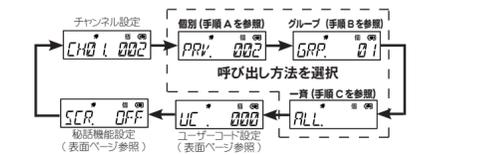
◎緊急アラームの動作を停止する:

電源スイッチを左にまわし切り、電源を切り切ります。

呼び出しを行う

個別通信のしかた:

待ち受けの状態から呼び出し方法を選びます。
[MODE]キーを何度か短押しして、呼び出し方法を選びます。
[MODE]キーを短押ししてから5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



手順A 特定の相手だけを呼び出す (PRV)

- 呼び出した相手局の個別番号 (PRV ID) を設定して呼び出します。
- [MODE]キーを1回短押しすることで、個別設定の画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しすると「▼」と「個」のアイコンが点灯し、個別番号の桁目点滅します。
 - 個別番号が点滅中に[▲]または[▼]キーを短押しして設定します。
[プログラマブル]キーを短押しすると桁が移動します。
 - 個別番号 [MODE]キーを短押しするか、約5秒間放置すると個別番号が確定します。または、点滅中にPTT(通話)スイッチを押すと「個」のアイコンが点灯して確定し、特定の相手局を呼び出します。

手順B 自局と同じグループだけを呼び出す (GRP)

- 同じグループ内に属する全員を呼び出します。
- [MODE]キーを2回短押しすることで、グループ設定の画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しするか、約5秒間放置すると「G」のアイコンが点灯して確定し、またはPTT(通話)スイッチを押すと「G」のアイコンが点灯して確定し、グループを呼び出します。
注意 設定モード「C03.MYGID」で、呼び出したいグループIDに変更することで、他のグループを呼び出すことができます。

手順C 一斉に呼び出す (ALL)

- グループに関係なく一斉に呼び出します。
- [MODE]キーを3回短押しすることで、一斉呼び出しの画面が表示されます。
 - [▲]または[▼]キーを短押しするか、約5秒間放置すると「一斉」のアイコンが点灯して確定します。または、PTT(通話)スイッチを押すと「一斉」のアイコンが点灯して確定し、一斉に呼び出します。

自動電源オフの設定 (F07. AT-PO)

「ON」に設定するとディスプレイに「O」が点灯し、2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を切り電池の消耗を防ぎます。1分前に警告音が鳴り、電源が切れます。

| | | |
|-----------|--------------------|-----------|
| OFF (初期値) | 自動電源オフの設定をOFFにします。 | F07.AT-PO |
| ON | 自動電源オフの設定をONにします。 | |

PTT ホールド機能の設定 (F08. PTHLD)

初期値「OFF」はPTT(通話)スイッチを押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。「ON」に設定するとPTT(通話)スイッチを押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付きPTT(通話)スイッチに変更することができます。

| | | |
|-----------|---------------------|-----------|
| OFF (初期値) | PTT ホールド機能をOFFにします。 | F08.PTHLD |
| ON | PTT ホールド機能をONにします。 | |

補足

連続送信時間は5分以内と電波法で定められています。本機では送信を開始してから約4分50秒後に「L」と警告音が鳴ります。5分経過する前に自動で送信が止まり、待ち受けの状態に戻ります。その後1分間は送信禁止状態になります。警告音が鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

PTT ホールドは、トランシーバー本体のPTT(通話)スイッチのみ有効となります。(外部マイク等のオプション使用時には設定を必ずOFFにしてください。)

スーパーセーブ機能の設定 (F10. SSAVE)

「ON」に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池/バックの消耗を防ぐスーパーセーブ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとスーパーセーブ機能は解除されます。

| | | |
|-----------|--------------------|-----------|
| OFF (初期値) | スーパーセーブ機能をOFFにします。 | F10.SSAVE |
| ON | スーパーセーブ機能をONにします。 | |

補足

- スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、PTT(通話)スイッチを押して送信を始めた際に電子音が鳴ります(送信ビープ)ので、鳴った後話をしてみてください。スーパーセーブ機能を「OFF」に設定すると、送信ビープも「OFF」になります。
- スーパーセーブ機能を「ON」に設定すると、受信中頭切れを起こすことがあります。頭切れを防止するために、相手局についてもスーパーセーブ機能を「ON」に設定することをお勧めします。

プログラマブルキーの設定と使用方法 (F11. P-KEY)

[プログラマブル]キーの動作を設定します。
「SCAN」(初期値) スキャン機能設定参照、「LIGHT」、「MUTE」の3種類から機能キーとして1つ選択することができます。

| | | |
|------------|--------------------|-----------|
| SCAN (初期値) | スキャンキーに設定します。 | F11.P-KEY |
| LIGHT | ディスプレイ照明キーに設定します。 | |
| MUTE | ワンタッチミュートキーに設定します。 | |

ディスプレイ照明機能を使用する

あらかじめ「LIGHT」を選択すると、ディスプレイの照明キーとして動作します。
[プログラマブル]キーを短押しします。
ディスプレイの照明が5秒間点灯します。



◎5秒以内に照明を消灯したい場合:

再度、[プログラマブル]キーを短押しします。

ワンタッチミュート機能を使用する

あらかじめ「MUTE」を選択すると、音量調節ノブを回さずにワンタッチで音量をオフにすることができます。

[プログラマブル]キーを短押しします。
ミュート中はディスプレイに「MUTE」が点灯し、音量をオフにします。



◎ワンタッチミュートを解除する:

再度、[プログラマブル]キーを短押しします。
または他のキーや音量調節ノブを回すことにより解除することができます。
ミュート中、3分経過すると自動的に解除します。

◎注意

緊急アラーム時にワンタッチミュートは動作しません。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、電子音(着信ベル)やLEDインジケータの点滅 (PRV: 不在着信機能が無効) により呼び出しがあったことを知らせます。

補足 個別通信によるLEDインジケータの表示は、「各部の名前と機能の④LEDインジケータ」を参照してください。

特定の相手から呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出された相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が一回鳴り、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、待ち受け時は点灯します。

個別呼び出しを受けた場合:

呼び出された相手局のIDが点滅表示され、LEDインジケータが水色に点灯したままになります(不在着信機能)。



応答する場合:

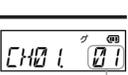
PTT(通話)スイッチを押すと相手を呼び出します。

不在着信状態をキャンセルする場合:

任意のキーを短押しします。
補足 スキャン機能動作中「F13:SC-RX」が「ON」の場合は、不在着信機能は動作しません。

グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示され、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。
約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、一斉呼び出しを示す「ALL」が表示され、受信中はLEDインジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。
約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



スキャン機能の設定と使用方法 (F12. SCANM, F13. SC-RX)

現在の通話チャンネルと事前に設定したスキャンチャンネルを自動的に切り替えモニターしながら待ち受けできます。スキャンチャンネルの初期値はコールチャンネル (CH15) が登録されています。

プログラマブルキーが「MUTE」または「LIGHT」の機能に設定されている場合は、「F11. P-KEY」を「SCAN」に設定してください。

スキャンチャンネルの登録

スキャンしたいチャンネルを事前に登録します。

| | |
|----------------------------------------|-----------|
| CH01 ⇨ CH15 (初期値) ⇨ CH30 ⇨ CH51 ⇨ CH55 | F12.SCANM |
|----------------------------------------|-----------|

スキャンしたいチャンネルで[プログラマブル]キーを短押しすると「O」が点灯し登録されます。再度押すと「O」が消灯し登録を解除します。
補足 ショートカットキー: チャンネル設定の画面時にスキャンしたいチャンネルに合わせ[プログラマブル]キーを長押しすると「O」が点灯しスキャンチャンネルが登録されます。再度押すと「O」が消灯し登録を解除します。

注意

緊急アラーム機能を設定している場合は、上記記載のショートカットキー(スキャンチャンネルの設定)は動作せず、緊急アラーム動作が優先されます。

スキャン再開の設定

着信後、スキャンを再開させるかを設定します。

| | | |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| ON (初期値) | 通話終了後「O」が点滅し自動(約5秒)でスキャンが再開します。 | F13.SC-RX |
| OFF | 着信後、スキャンは終了し、着信したチャンネルでの受信動作に移行します。 | |

スキャン機能を使用する

スキャンを開始する
[プログラマブル]キーを短押しします。
通話チャンネルと事前に登録したスキャンチャンネルをスキャンします。



注意

000以外のUCコードでスキャン中に、一致しないUCコードの局が通話チャンネルまたはスキャンチャンネルで交信を続けている間は、LEDインジケータが緑色に点滅しますがスキャンは停止しません。

スキャンを終了する

スキャン中に[プログラマブル]キーを短押しします。

各種設定値を初期値に戻す (F99. RESET)

各種設定を初期値(ご購入時の状態)に戻します。

| | | |
|-----------|---------------|-----------|
| OFF (初期値) | 設定リセットを中止します。 | F99.RESET |
| ON | 設定リセットを開始します。 | |

◎ONに設定した場合:

- 「REALLY」が表示されます。
- [MODE]キーを短押しします。
「SUCCCEED」が一瞬表示されリセットされます。
- 電源を切ります。

防水性について

本機は、IEC国際規格IP67(防塵等級6*)、防水等級7**の防塵、防水性能を有しています。この防水性を未劣化確保していたるために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- 表面の電池フタを確実にロック(赤印が見えなくなるまで)し、MIC/SP端子とUSB端子のキャップも確実に取り付けられた状態でIP67を確保します。
- PTT(通話)スイッチやキーのラバー、MIC/SP端子のキャップ、USB端子のキャップ、防水シール、電池フタの「V」キーン部分などに、キズ、劣化、汚れ、剥がれがないか確認してください。
- 海水砂埃などが付いたときは、ケースが濡れていないことを確認した上で、洗面器に真水を入れて洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- 本機は、水中での使用はできません。
※1: 稼働中内部に入らない。
※2: 加圧を加えない真水・静かに水深1mの位置で30分間浸しても有害な影響を生じないこと。



故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか? 修理を依頼される前に、お確かめください。

- ◎電源が入らない!
 - 電池/バックが消耗していませんか?
 - 電池/バックを充電してください。
 - 電池/バックの端子が接触不良になっていませんか?
 - 電池を乾いた布で拭いてください。
 - 電池/バックが古くなっていませんか?
 - 電池/バックの寿命です。
 - 新しい電池/バックをお取り替えください。
- ◎送信できない!
 - PTT(通話)スイッチを正しく押していますか?
 - 送信出力の設定が「OFF」になっていませんか?
 - 設定モード「F05.TXPWR」で送信出力の設定を確認してください。
 - ディスプレイに「TX INH」と表示されませんか?
 - 設定モード「F01.TXCH」で送信チャンネルの設定を確認してください。
- ◎通話できない!
 - 相手局と同じチャンネルに設定していますか?
 - 相手局との距離が離れすぎていませんか?
 - 相手局と同じ通信方式に設定していますか?
 - 設定モード「C01.CLMOD」で通信方式の設定を確認してください。
 - 相手局と同じユーザーコードに設定していますか?
 - 秘話通信機能が動作していませんか?
 - お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

オプション一覧表

| 品名 | 型番 |
|-----------------------------|-----------|
| ペリクルクラブ(構成品と同等) | CLP-25 |
| リチウムイオン電池/バック(構成品と同等) | BITX |
| 充電用ACアダプター(構成品と同等) | PA-57A |
| 急速充電器(ACアダプターはPA-57Aを使用します) | CD-63 |
| 超薄型スピーカーマイク | MH-T3A4B* |
| スピーカーマイク | MH-57A4B* |
| タンデムマイク | MH-62A4B* |
| VOXヘッドセット(八重洲無線製) | SSM-64A* |
| キヤンダグケース(八重洲無線製) | SHC-26 |

※: ねじ込み式の防水コネクタを使用しているため接続をすとは、十分に締めこめてください。締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。

カタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ <http://www.yaesu.com/jp/> を参照してください。

定格

送受信周波数: デジタル簡易無線登録局
陸上波: 351.120000MHz ~ 351.38125MHz (6.25kHz間隔、30波)
上空波: 351.16875MHz ~ 351.19375MHz (6.25kHz間隔、5波)

変調方式: 4値FSK
通信方式: 単信(フル duplex)方式
送信出力: 1W/0.5W/0.2W (+20%、-50%以内)
低周波出力: INT: 500mW以上(10%至時)
電池持続時間: BITX (構成品) スーパーセーブ機能ON時: 約13時間
スーパーセーブ機能OFF時: 約10時間
(送信出力1W時、送信5、受信5、待ち受け90の割合で運用時)

電源電圧: DC 3.7V ± 10%
温度範囲: 温度 -10℃ ~ +60℃
湿度 95% (35℃)

本体寸法: 55mm(幅) × 91mm(高) × 27mm(奥行)(突起物を含みます)
本体重量: 約199g (BITX、ペリクルクラブ、MIC/SP端子キャップを含む)
◎定格を予告なく変更することがあります。
◎RoHS指令準拠

音声圧縮(符号化)方式について

本機は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用し、AMBE+2™に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding